

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	堺市立人権ふれあいセンター	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市堺区協和町2丁61番	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地	平均居住人員	378 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	584 時間/年
建物用途	事務所、集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2013年2月7日
敷地面積	11,958 m <sup>2</sup>	作成者	東畑建築事務所 渡邊
建築面積	2,882 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,302 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	93%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	4.2
温熱環境	3.1
空気質環境	3.7
空気質環境	3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	3.6
耐用性	3.4
対応性	3.5

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性	4.5

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

建物の	4.2
自然エネ	4.0
設備システ	2.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	3.8
非再生材料の	3.5
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	3.3
地域環境	3.6
周辺環境	3.4

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 将棋の駒や古墳の形を共通モチーフとして、勾配屋根や傾斜壁といった堺を想起させる形態、風景を意匠に取り込んでいる。階段室の煙突効果による換気システム、クールヒーートレンチや雨水利用を採用することで環境にも配慮するとともに、壁面緑化と周辺地域と連続した緑地帯を計画することで緑のランドスケープを形成し、緑溢れる風景の創出を目指した。	<b>その他</b> 既存建物解体時に騒音や粉塵が及ぼす周辺への影響を最小減に留めるよう配慮した。	
<b>Q1 室内環境</b> 体育室等、音が発生する部屋には他室に漏れないよう遮音性能の高い間仕切壁を採用した。奥行き長い廊下や体育室には適所にトップライトを設けることで、採光及び排煙を確保できるように計画している。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物内のバリアフリーはもちろんのこと、広大な敷地に対して段差等がなく、障害者が目的地までたどり着けるよう徹底した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外壁面をセットバックし、傾斜した壁を設けることで、圧迫感のない形態と、ヒューマンスケールの街並み形成に配慮した。外壁には周辺建物と合わせた白系の外壁仕上げとし、現在の景観に調和する計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b> 階段室の煙突効果を利用した換気システム、地中熱を利用して空調を行うクールヒーートレンチ、雨水再利用、太陽光発電を設置することで、自然エネルギーを積極的に活用した計画とした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 防汚性、耐久性に富んだ材料を選定し、周辺環境から突出しない調和のとれた色彩に配慮した。自動水洗、省水型機器の採用、リサイクル材の利用により限られた資源を有効にしようとするよう計画している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 外構計画において植栽や浸透性のある床材を採用することで雨水の地下浸透に努めた。芝生や低木を植えることで周辺温熱環境の改善を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	堺市立人権ふれあいセンター	BEE	BEEランク <b>A</b>
	建設地	堺市堺区協和町2丁61番	<b>1.6</b>	
	主用途/延床面積	集会所 / 6,301.56 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	4	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.3	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		4.2	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		4.0	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		2.6	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		3.8	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		3.0	4
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		5.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		4.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	4
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		4.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		4.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		4.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項
自然エネルギーを利用した換気	階段室に煙突効果を利用した換気システム
特に配慮した事項	
太陽光パネルの設置、トップライトによる自然採光	